

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月14日

上場会社名 杉田エース株式会社

上場取引所 大

コード番号 7635 URL <http://www.sugita-ace.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉田 裕介

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役コーポレートスタッフ部門長 (氏名) 横井 雅彦

TEL 03-3633-5150

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	32,402	—	145	—	235	—	86	—
24年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 78百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	16.09	—
24年3月期第3四半期	—	—

(注) 当第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成24年3月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	23,240	6,789	29.0	1,264.93
24年3月期	—	—	—	—

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 6,747百万円 24年3月期 一百万円

(注) 当第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成24年3月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,027	—	640	—	758	—	402	—	75.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 2社 (社名) マンモエース株式会社
トクダエース株式会社、除外 1社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	5,374,000 株	24年3月期	5,374,000 株
25年3月期3Q	6,889 株	24年3月期	6,889 株
25年3月期3Q	5,367,111 株	24年3月期3Q	5,367,235 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(5) セグメント情報等	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間は連結初年度にあたるため、前年同四半期との比較分析の記載はおこなっておりません。

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな景気回復の兆しが見られましたものの、円高、デフレが長期化し、また欧州の信用不安、新興国の景気減速等が世界景気の停滞を促し、厳しい状況の中で推移しました。

住宅建設関連業界におきましては、持家、貸家、分譲住宅ともに新設住宅着工戸数には持ち直しの動きが見え、比較的堅調に推移しました。

このような状況の中、当第3四半期連結累計期間における売上高は32,402百万円、経常利益は235百万円、四半期純利益は86百万円となりました。

セグメント業績は次の通りであります。

① ルート事業（住宅用資材・ビル用資材・その他）

住宅用資材は、錠前及びドアクローザー関連が伸長した建具商品、ポスト関連商品が伸長したマンション住宅商品、カーテンレール等が伸長したインテリア商品及び、建設副資材がそれぞれ好調に推移し、売上高は12,121百万円となりました。

ビル用資材は、屋上ベランダ・外装商品等が伸長したビル用商品、階段廻り商品が伸長した福祉商品及び、エクステリア商品が伸長した景観商品がそれぞれ好調に推移し、売上高は12,791百万円となりました。

この結果、ルート事業全体の売上高は26,346百万円となりました。

② エンジニアリング事業（住宅用資材・ビル用資材・その他）

住宅用資材は、ドアクローザー関連が伸長した建具商品、物干・ポスト関連商品が伸長したマンション住宅商品及び、カーテンレール等が伸長したインテリア商品がそれぞれ好調に推移し、売上高は1,107百万円となりました。

ビル用資材は、エクステリア商品が好調であった景観商品が伸長しましたが、ビル用商品及び、福祉商品がやや低調に推移し、売上高は1,464百万円となりました。

この結果、エンジニアリング事業全体の売上高は、2,791百万円となりました。

③ 直需事業（DIY商品・OEM関連資材）

DIY商品は、住宅資材関連商品、建具商品、生活関連商品が伸長し好調に推移しましたが、消火器需要や、節電断熱商材需要が減少し、売上高は2,049百万円となりました。

OEM関連資材は、収納金物、点検口等の設備金物が伸長したものの、サッシ部品関連が低調に推移し、売上高は1,214百万円となりました。

この結果、直需事業全体の売上高は3,263百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は以下の通りです。

総資産23,240百万円

総負債16,451百万円

純資産 6,789百万円

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年2月6日公表いたしました「連結決算開始に伴う連結業績予想に関するお知らせ」から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結累計期間より、マシモエース株式会社とトクダエース株式会社の2社を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

当第3四半期連結会計期間
 (平成24年12月31日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,386
受取手形及び売掛金	13,255
たな卸資産	2,296
その他	1,403
貸倒引当金	△41
流動資産合計	18,299
固定資産	
有形固定資産	3,821
無形固定資産	119
投資その他の資産	1,000
固定資産合計	4,940
資産合計	23,240
負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	13,847
1年内返済予定の長期借入金	428
未払法人税等	65
引当金	135
その他	515
流動負債合計	14,993
固定負債	
長期借入金	593
退職給付引当金	383
役員退職慰労引当金	389
その他	91
固定負債合計	1,458
負債合計	16,451
純資産の部	
株主資本	
資本金	697
資本剰余金	409
利益剰余金	5,670
自己株式	△3
株主資本合計	6,774
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	△26
その他の包括利益累計額合計	△26
少数株主持分	41
純資産合計	6,789
負債純資産合計	23,240

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	32,402
売上原価	27,839
売上総利益	4,562
販売費及び一般管理費	4,416
営業利益	145
営業外収益	
受取利息	1
受取配当金	6
仕入割引	72
その他	34
営業外収益合計	115
営業外費用	
支払利息	13
手形売却損	9
その他	2
営業外費用合計	24
経常利益	235
特別利益	
負ののれん発生益	26
特別利益合計	26
特別損失	
固定資産除却損	10
特別損失合計	10
税金等調整前四半期純利益	252
法人税、住民税及び事業税	75
法人税等調整額	90
法人税等合計	165
少数株主損益調整前四半期純利益	86
少数株主利益	0
四半期純利益	86

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	86
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△8
その他の包括利益合計	△8
四半期包括利益	78
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	78
少数株主に係る四半期包括利益	0

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント（百万円）			合計（百万円）
	ルート事業	エンジニアリング事業	直需事業	
売上高				
外部顧客への売上高	26,346	2,791	3,263	32,402
セグメント間の内部売上高 又は振替高	32	—	—	32
計	26,379	2,791	3,263	32,434
セグメント利益	861	48	92	1,002

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額（百万円）
報告セグメント計	1,002
全社費用（注）	857
四半期連結損益計算書の営業利益	145

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更に関する事項

従来、当社の報告セグメントの事業区分は、「ルート事業」「建材事業」「DIY事業」の3事業としておりましたが、販売経路及び得意先の営業形態等を勘案し、合理的な区分の検討を行った結果、第1四半期会計期間より「ルート事業」「エンジニアリング事業」「直需事業」の3事業に再編・区分することといたしました。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（重要な負ののれんの発生益）

「ルート事業」セグメントにおいて、トクダエース株式会社（平成24年8月31日株式会社トクダより商号変更）及びマシモエース株式会社（平成24年11月30日株式会社マシモより商号変更）の株式を取得し、同2社を連結子会社といたしました。企業結合時において、同2社の資産・負債の時価を再評価した結果、負ののれんが合計で26百万円発生し、当第3四半期連結累計期間において特別利益（負ののれん発生益）に計上しております。